

[科目名] 学 習 導 入 演 習				[単位数] 2 単位		[科目区分] アカデミック コモンベーシックス	
[担当者] 横 手 一 彦			[オフィス・アワー] 時間:開講時に指示 場所:横手研究室(616 号室)			[授業の方法] 演習	
[科目の概要] <p>大学で〈学ぶ〉ということは、どういうことなのだろう。高校までの勉強と、どこまでが同じで、どこからが違うのだろう。大学一年、入学した春学期の、学生ひとり一人の、そのような戸惑いは当然である。また自然なことでもある。</p> <p>この科目は、これまでの「学習」という土台の上に、大学における〈学ぶ〉(〈研究する〉)という筋道を示すような形で、疑問や不安に答えるようにする科目である。新しい領域に接するではなく、〈学ぶ〉ということに関連した応答が目的の一つである。そのため、入門的な内容になる。</p> <p>ひとり一人が、今後の四年間をみすえ、その初年度の春学期に、〈学ぶ〉という自覚と、〈学ぶ〉という姿勢を自らに引き寄せる。教員の立ち位置は、それらを側面的に支援するところにある。教員は、側面的であるという以上に前へ進むことは出来ない。〈学ぶ〉ということは、〈覚える〉こと、〈勉強する〉ことと重複する。その違う部分を大切にしたい。加えて、自分の文章を書く、自分の論文を書くという方向へと段階的に進める(レポート作成)。</p>							
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] <p>気づかなかったことに、気付く。知らなかったことを、知る。それらは単純なことのようで、それほど簡単なことではない。深い意味を持っている。自らの意欲が、その底辺にある。自分が〈学ぶ〉という一面に、人に〈学ぶ〉という側面を重ね、これまでの自分に、これまで以上に自覚的になる。大切な接点であり、正面から向き合おうとすれば、相手(他者)は意外なほどに手強いし、凄い存在である。安易な自己満足は許されない。</p> <p>これまでと、いまに立ち返り、もう一度見つめ直せば、必ずしも十分ではなかったと気づく。その隙間(すきま)を埋める。「自分が」、「自分で」、「自分の」、である。誰かは手助けしてくれるが、その代理や代弁を務めることはない。</p> <p>大学で〈学ぶ〉というプロセスは、約(つづ)めれば、物や事や人や考え方に向き合い、特定の事柄を対象化し、自らの課題を発見する。分類し、分析し、考察を深め、調査し、議論を重ね、論究を続けるという流れとしてある。成果は、レポートにまとめられる。意図的に、段階的に、踏み上がる。そのことで自らが〈学ぶ〉自覚と、自らが〈学ぶ〉姿勢を具体的に引き寄せる。</p> <p>それらが、大学という場で〈学ぶ〉基礎となる。自分が苦勞して書き上げたレポートに、自分を励ます力が宿る。〈学ぶ〉階梯を自立的に歩む。習得したものは、大学四年間の〈学び〉の要になる。</p>							
[科目の到達目標] 課題レポートの作成 1. 過去の実践例に学ぶ(批判的な論究)。 2. 課題意識、関連資料の収集と整理、分析的思考。事例に基づく論理的な構想力。それらの文字化(レポート作成)。							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
学部				学科			
DP1	DP2 ○	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 多様な知3——教科書と教科書以外に学ぶ3</p> <p>内 容: 1. 学内の施設訪問(施設見学だけを目的としない 雨天等の場合は順延)</p> <p>2. 施設を実見 施設的设计構想 構想を形にする</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 中間的のまとめ</p> <p>内 容: 1. もう一度——大学というところ 大学生ということ 自分を語るということ</p> <p>2. 現代に生きる 現代を生き続ける 3. 学生の小レポート紹介</p> <p>4. 例ハンガリーの医師</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 人類史的な系譜——ヒトと人</p> <p>内 容: 1. ヒト</p> <p>2. 種と採取と栽培 針と糸</p> <p>3. 人に生まれる 人となる</p> <p>4. 人として歩む→人として生きる</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 人として生きる</p> <p>内 容: 1. 学びの四パターン 2. 学問への切っ掛け 3. 真つ当に生きる 4. 小レポート作成</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 「3.11」に学ぶ1</p> <p>内 容: 1. 「3.11」に学ぶ</p> <p>2. 破壊の現実生きる</p> <p>3. 出来事に学ぶ 経験に学ぶ 人に学ぶ 考え方に学ぶ</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 「3.11」に学ぶ2</p> <p>内 容: 1. レポートを書くために</p> <p>2. レポート作成の目論見書の作成</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): レポート作成の実践1</p> <p>内 容: 文字で表現するという事 文章表現の基礎的な項目</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): レポート作成の実践2</p> <p>内 容: 意見交換と文章の手直し</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): レポート作成の実践3(レポート作成の最終段階)</p> <p>内 容: 論理的な展開 主張の明確化 文章全体の再検討</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 〈学ぶ〉ということ まとめ</p> <p>内 容: 1. 15回の演習を振り返る</p> <p>2. 要点を確認する</p> <p>3. 意見の交換</p> <p>4. 自らの到達点の確認</p> <p>5. 自らの未達点の確認</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>「3.11」について4000字以上のレポート提出(試験なし)。</p>